

2020年度 第3回研修会報告

文責 滋賀森林インストラクター会 平田 明

1. 日時・研修地

2020年 10月 25日(日) 近江八幡市／沖島

2. 天気 晴れ

3. 参加者 小西（講師）、高橋、関澤、橋木、上萩、平田（明）、平田（輝子：一般）

4. 日程&行程

- ・9時00分 堀切漁港駐車場 集合
- ・9時15分発 沖島通船の船で約10分(1人片道500円 乗船時往復購入)、波に揺られて沖島港へ。
- ・9時40分 研修開始
- ・10時10分 ケンケン山着
- ・11時10分 見晴台着
- ・12時05分 巖島神社着 昼食 12時05分 発
- ・13時30分 沖島港着 千円畑方面往復
- ・14時00分 沖島港発 堀切港着 解散

5. 所感

日本で唯一の湖にある人の住む島である沖島は、周囲約6.8km 面積約1.52km²の小さな島に約300人が暮らす島です。島外との行き来も盛んで、物資とともに自然のものも多く入り込み定着しています。島の人の生活で植えられた果樹なども、鳥や動物により裏山へと運ばれ、それらが共に生を営む混沌とした様相は、とても魅力的なものでした。

【周辺の地図】





ネコ

ネコ科

Felis catus

猫

沖島には、猫がたくさん居たそうですが、
だいぶ減ったとのことでした。

漁港の生け簀の魚に興味津々。



柿本人麻呂の歌碑



ケンケン山

けわしい山なので、陰険山だそうです。

低い山なので、ケンケンでも登れるとの説もあります。

さて、どうでしょうか。

いざ、出発。



沖島から奥島を望む

対岸は、近江八幡市の伊崎半島で、島でもないに奥島といいます。何か島のようにも見えます。



狭い歩道を行います。

沖島のメインストリート・ホンミチもこのような幅です。



スタジイ

ブナ科

Gastanopsis sieboldii

素台木椎、首陀椎、須田椎など

語源は不明。

ちなみに素台木とは、椎茸の原木の意味だそうです。



ヤマハゼ

ウルシ科

Toxicodendron sylvestri

山黄櫨



ツクバネウツギ

スイカズラ科

Abelia spathulata

衝羽根空木



カラスザンショウ（１）

ミカン科

Zanthoxylum ailanthoides

烏山椒



ムベ（幼樹）

アケビ科

Stauntonia hexaphylla

郁子 野木瓜



コウヤボウキ

キク科

Pertya scandens

高野箒



ヤマモモ

ヤマモモ科ヤマモモ属

Morella rubra

山桃

1属1科



ヤブニッケイ

クスノキ科

Cinnamomum pedunculatum

藪肉桂

学名もシナモン属になってるな。



ムベ

アケビ科 *Stauntonia hexaphylla* 郁子 野木瓜



ヤブコウジ

サクラソウ科

Ardia japonica

藪柑子

柑子って、ミカンのことだけど。

同じ常緑ってことかな。



ケンケン山

10:10 着

山頂からは、比良山系が一望です。



アキノキリンソウ

キク科

Solidago virgaurea var. asatica

秋の麒麟草



小西さん何してるんですか

晴れた日に雨傘開いてなにしてるんですか。

ムカゴ取りにはこれは効率がよいそうです。



イソノキ
クロウメモドキ科
Rhamus crenata
磯の木



ガンピ
ジンチヨウゲ科
Piplomorpha shikokiana
雁皮

学名は、‘四国の’ になってます。
四国も和紙の生産地なんでしょう
ね。



ヒトツバ
ウラボシ科
Pyrrosia lingua
一つ葉

学名の lingua は、舌のこと。
こう、ペロペロ舌がでてきたら、た
まったもんじゃない。



シラヤマギク

キク科

Aster scaber

白山菊

下葉が柄の長い心形が特徴。



サルトリイバラ

サリトリイバラ科

Smilax chinar

猿捕茨



ノキシノブ

ウラボシ科

Lepisoru thunbergianus

軒忍



カゴノキ

クスノキ科

Litsea coreana

鹿子の木

分布は、本州（関東地方・福井県以西）、四国、九州、朝鮮半島南部。それで、学名は‘朝鮮の’になっているのですね。



マツオウジ

ヒラタケ科

Neolentinus lepideus

今回は、関澤さんがお持ち帰り。お味は、如何でしたでしょうか。



マツオウジ（裏）

ヒラタケ科

Neolentinus lepideus

松生子



湖東流紋岩

ツブツブの表面が湖東流紋岩に見られる特徴。

近江八幡の鶴翼山や沖島では最近まで切り出されてたそうです。

石屋さんに言わせると、その石の品質は「花崗岩の灯笼は千年もつが湖東流紋岩は優に二千年はもつ」だそうです。



フユイチゴ

バラ科 *Rubus buergeri* 冬莓



ホオジロ広場

10:40 着

白鬚神社の赤い鳥居を、皆で探しています。



ムベ

アケビ科 *Stauntonia hexaphylla*

郁子 野木瓜



ムベはアケビのように実が割れないので、鳥害を受け難いと言われますが、何が食べたのでしょうか。

ちなみに沖島には、イノシシはいますが、サルはいません。

リスは居るのかな。
ネズミの仕業かな。



ゴンズイ（下から見て）

ミツバウツギ科

Euscaphis japonica

権翠



ゴンズイ（上から見て）

ミツバウツギ科

Euscaphis japonica

権翠

牧野植物図鑑では、「役立たず」もろいというのが、名前の由来とのこと。樹皮の様子が、魚のゴンズイに似ているからとも言われる。



シロダモ

Neolitsea sericea

白栴（白栴）

ダモの語源は不明



アズキナシ

バラ科

Sorbus alnifolia

小豆梨



見晴らし広場

11:10 着

こちらは、東側を望みます。



ナガコガネグモ

コガネグモ科

Argiope bruennichi

長黄金蜘蛛

雌の腹部の縞模様が黄色と黒ならコガネグモ。黄色と水色（青緑色）ならジョロウグモ。腹部が赤ければジョロウグモ。



左：ヤブニッケイ

クスノキ科

Cinnamomum pedunculatum

藪肉桂

右：シロダモ

Neolitsea sericea

白楠（白栴）

教材のようにふたつ並んで生えます。



左：ヤブニッケイ

クスノキ科

Cinnamoum pedunculatum

藪肉桂

右：シロダモ

Neolitsea sericea

白楠（白栴）

（葉の裏）



蓬萊山尾山

11：45 発



珍妙な檜やな

茅の輪に見立てて、

御利益求めて

はいはい、

皆で潜りまひよ。

潜りまひよ。



不明

食べられそうですが、お持ち帰り無しでした。



不明（裏側）

柄の先は、典型的な便腹状でした。



チャ

ツバキ科

Thea sinensis



水底電話ケーブル

電話線も水道管も湖底を通して島に繋がっています。



巨大カワウのデコイ

カワウを呼び寄せるためのものでは、ありません。

あまりの大きさにカワウが恐れをなして、近づかないようにするためのものです。(へっへ)

なにしろ対岸の伊崎半島には、かつて多くのカワウのコロニーがあり、駆除の対象になっていたのですから。

ちなみに、これは人が作ったものではないようです。



カラスザンショウ (2)

ミカン科

Zanthoxylum ailanthoides

烏山椒

島では、カラスザンショウも大きく育ちます。



サネカズラ

マツブサ科

Kadsura japonica

実葛

学名の表記はカズラ属になってますね。日本では、サネカズラ属です。



コバノフジバカマ

キク科

Eupatorium japonica

藤袴



ノブドウ

ブドウ科

Ampelopsis glandura

var. heterophylla

野葡萄

実の色づきは、ブドウタマバエやブドウトガリバチの幼虫の寄生によるもの。



厳島神社鳥居

12:05 着 昼食 12:45 発

島の東には奥津嶋神社、荷には厳島神社が鎮座おわします。

沖島には平家の落人伝説があるそうです。



左：ニガカシュウ

ヤマイモ科 *Dicorea bulbifera*

苦荷首島

右：ヤマノイモ

ヤマイモ科 *Dicorea japonica*

山の芋 薯蕷

ニガカシュウの実はつぶつぶの突起があります。苦いので、お間違えないように



タンキリマメ

マメ科

Phynchosia volubilis

痰切豆

痰が絡んで咳が出ますか・・・

1包2錠、朝晩食後に服用して、様子を見てみましょう。

熱がないので、新型コロナではないでしょう。



アラカシ

ブナ科

Quercus glauca

粗榧



ミドリハカタカラクサ

ツユクサ科

Tradescantia fluminensis

緑博多唐草

南アメリカ原産。



ホシアサガオ

ヒルガオ科

Ipomoea triloba

星朝顔

北アメリカ原産

花は薄紅色で中心部が紅紫色をおびるものが多い。



オオオナモミ

キク科

Xanthium occidentale

大葉耳、大巻耳、大雄菜揉み

一番普通に見られるオナモミ。

果苞の棘に毛があるのが特徴。



カニクサ

カニクサ科

Lysgodium japonica

蟹草



カワウ

のんびり日光浴。

今日は、朝方は寒かったのですが、

昼間は暖かな一日となりました。



長崎の被爆柿の木の二世



イラガ（幼虫）刺蛾
イラガ科 *Monema flavescens*
ヨコヅナサシガメ横綱刺亀
サシガメ科
Agriosphodurus dohrni

昆虫界の突刺キラー同士の死闘、さすがのイラガも三匹の肉食虫サシガメに襲われては、どうしようもありません。無念。

（沖島小学校校庭の桜並木にて）



三輪自転車

島のポピュラーな乗り物。
サドルに、雨よけの空き缶を被せるのが定番です。



漁業会館にて

今日は、多くの釣り客や観光客が来ていました。

そこで皆さん、鮎寿司が、売り切れるといけないと研修に入る前に御予約。

漁港に戻って、無事お引き取り。
満足満足。



ガガブタ

ミツガシワ科

CrNymphoides indica

鏡蓋

アジア、アメリカ、アフリカ、オーストラリアに広く分布するとのこと。学名は「インドの」になってますね。

白い花が咲きます。同じアサザ属のアサザは、黄色の花が咲きます。



集合写真

沖島漁港に戻ってから、船が出るまでに採石場跡の千円畑まで行こうと頑張りましたが、時間切れ。またのお楽しみということで、

定例の集合写真も連絡船から下りて、堀切港にてということになりました。